

市長室から



宇城市長 阿曾田 清

「坂の上の雲」を宇城市に

先日、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」のロケの打ち合わせが、三角西港で行われました。来年の秋から3年（3部構成の13回）にわたり放送される予定であります。

「坂の上の雲」とは、秋山好古・真之兄弟と正岡子規の3人を主人公に、明治という近代日本の勃興期をいかに生きたかを描いた青春群像小説で司馬遼太郎の代表作であります。

小説の題名も、「封建的な社会から目覚めたばかりの幼い日本国家が、そこを登り詰めてさへ行けば、やがては手が届く」と思い焦がれた欧米的近代国家というものを、「坂の上にたなびく一筋の雲」に例えた切なさや憧憬をこめた題名である」と言われております。

平成の大合併で5つの町が合併してできた宇城市。小さな自

治体が合併し、新しい自治体が誕生し、それと共に新しいまちづくりが始まったわけであります。

この誇りと生きがいのあるまちづくりを「坂の上の雲」に例えますならば、今取り組んでいる3大改革（意識、行政、財政）と3K政策（教育、健康、環境）+2K政策（雇用、観光）、そして全市の均衡ある発展を実現することが目指す「雲」であります。

先進市といわれる太田市や富良野市に追いつき追い越すためには、市民と市が一体となり、宇城市の魅力を引き出すことです。その道を登り詰めて行くことで、誇りと生きがいのあるまちを実現できると確信しております。明治初期に日本が近代国家を目指したように、宇城市も理想都市を目指して、一緒に歩んでいきましょう。

※平成20年6月の市長談話は6日金の予定です。参加ご希望の人は、総合政策課（☎321111）へ5月20日（火）までお申し込みください。

市議会だより

平成20年 第1回定例会

平成20年第1回市議会定例会が2月21日から3月17日までの会期で開かれ、平成20年度一般会計当初予算など54議案（予算20、条例25、その他3、人事6）を審議、すべて原案どおり可決されました。その主な内容についてお知らせします。また、一般質問では9人の議員から質問がありました。

条例

【地域振興基金条例の制定】市の振興および地域活性化事業の費用に充てるため制定しました。

【自転車放置防止条例の制定】自転車の放置を防止することにより、公共の場所としての機能の確保および美観を維持し、市民の安全で快適な生活を保持することを目的に制定しました。【公共施設の暴力団排除に関する条例の制定】

市が所有または管理する行政財産を暴力団の利益となる行為に対して使用させないために条例を制定しました。【男女共同参画社会推進委員会条例の制定】男女共同参画社会の形成に向けた活動をさらに推進するため

条例を制定しました。【後期高齢者医療に関する条例の制定】後期高齢者医療制度の導入に伴い、条例を制定しました。

【環境保全に関する条例の制定】環境基本計画および環境基本条例に基づき行政、市民、事業者の3者の協働により、生活環境の改善を行うため、条例を制定しました。

【空き地等の適切な管理に関する条例の制定】

空き地等の美観の保持と適切な管理によって、良好な生活環境を保全し、健康で安全な市民生活に寄与することを目的に条例を制定しました。

【市立保育所の延長保育事業及び一時保育事業利用者負担金徴収条例の制定】延長保育料および一時保育料

を負担金として徴収するため、条例を制定しました。

【放課後児童健全育成事業利用者負担金徴収条例の制定】児童保育料を負担金として徴収するため、条例を制定しました。

予算

【平成20年度一般会計予算】歳入歳出予算の総額をそれぞれ250億169万2千円としました。前年度当初予算比で1%増となります。

主な事業は、JFAアカデミーの芝生やナイター施設、クラブハウスの整備費4億5千万円、松橋町の農産物直売所建設費1億1800万円、三角セクター改修費1億5600万円、三角生涯学習拠点施設整備費8500万円などです。

ジョハンナ・ディレオン先生の

日本つれづれ日記

カンボジアで感じたこと



日本では桜が咲きみんなが春を楽しんでいる間に、私はひと足早い夏を暑いカンボジアで過ごしました。春休みの10日間程、PEPYという団体と一緒にカンボジアに旅行に行きました。

ボランティアと観光を組み合わせたツアーでした。このようなタイプのツアーを「ボラントリズム」（ボランティアと観光旅行という意）と言つて、今多くの若者の間で急速に人気が出ています。私は旅行が大好きなのですが、訪れた国を感じ取ることができる一番の方法は、現地の人と知り合い一緒に仕事をすることだと思います。

旅行を通して、カンボジアについてたくさん事を学びました。カンボジアは美しい国で、人々は親しみやすく、いつも笑顔で声をかけてくれます。しかし、20年前、カンボジアの人々は苦しんでいました。ベトナム戦争や指導者たちの権力争いなどの結果、カンボジアの人々はボルボトの率いたクメールル

ジュの支配下に置かれました。全ての硬貨は破壊され、抵抗する者は殺され、人々は農夫として無理やり働かされました。

クメールルージュの支配は終わりましたが、カンボジアにはまだその傷跡が残っています。多くの人々は貧しいままで、多くの子供が学校に行けませんし、道路や下水道設備は未開発です。カンボジアは悲惨な歴史の後、いまだ再建中なのです。

旅行の間、わたしたちのグループは、ストウントレンの近くの中学校を訪れました。その学校の生徒たちも貧しく、彼らのほとんどが自分のノート、ペン、靴さえ持っていないでいました。それに、学校には水道や電気がありませんでした。わたしたちは2、3日の間中学校で彼らの学習課題を手伝いながら過ごしました。自転車小屋を立てたり、他のグループの寄付金で買った自転車を修理したり、ゲームをしたり、英語のレッスンや日本の折り紙を教えたり、

美術の授業をしたりしました。生徒たちはとても楽しそうで、多くの生徒がわたしたちの訪問で勉強の意欲が高まったと言ってくれました。

しかし、カンボジアでは生徒の約半分が小学校3年生までに、学校をやめます。彼らは家族の手伝いをしなければならぬし、簡単には通えないほど、遠くから来ているからです。訪問の後、わたしたちは彼らを一生懸命働いてくれたご褒美として観光に連れて行きました。シエムリープのアンコールワットを訪れました。みんな初めて見るアンコールワットで、一緒に感動しました。

この旅行で私の人生や世界観が変わりました。自分はとても恵まれていると思います。水があつて、電気、服、靴、家族、そして自由があつて。

皆さんもこんなボランティアを試みるのはどうですか？自分の国でもいいし、カンボジアのように貧しい国でもいい。たくさんの人たちが助けを必要としています。

誰にでもできます!!

【平成20年度特別会計予算】

*国民健康保険特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ80億7756万3千円としました。

*老人保健特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億7338万3千円としました。

*後期高齢者医療特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億4827万4千円としました。

*介護保険特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ48億7246万3千円としました。

*奨学金特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ2306万4千円としました。

*簡易水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億5136万7千円としました。

*農業集落排水事業特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億8648万5千円としました。

*公共下水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ22億4737万6千円としました。

*水道事業会計

事業収益を11億2139万円

指定管理者の指定

宇城市元気老人交流施設（松橋町）の指定管理者を社団法人「宇城市シルバー人材センター」に指定しました。期間は平成20年4月1日から平成23年3月31日までです。

人事

【固定資産評価審査委員会委員の選任】

現委員の小林健二郎さん（三角町）、野田勝さん（不知火町）、西山隆夫さん（松橋町）、岩本剛さん（小川町）、亀山為義さん（豊野町）の任期満了（平成20年3月23日）に伴い、同委員5人を再度選任することが同意されました。

【教育委員の任命】

現委員の今村弘さん（不知火町）の任期満了（平成20年3月23日）に伴い、同委員を再度任命することが同意されました。